

式辞

校内の桜も、新入生の入学を待っていたかのように咲き誇っている本日、ご来賓の皆様方のご臨席のもと、第 67 期生の入学式を挙行できますことを教職員一同、大変うれしく思っております。平素は本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、この伝統ある淀川中学校の一員となられた 77 名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは小学校を卒業する前から「中学校はどんなところだろう」「勉強についていけるかな」「部活動は何にしようかな」「友だちはできるかな」と、たくさんの不安を持っていたことと思います。でも、大丈夫です。今日の入学式に出席してくれている生徒会役員・学級役員・吹奏楽部員をはじめ、皆さんの先輩がやさしく出迎えてくれると思いますので、安心して登校してください。

今日から皆さんは、この淀川中学校の生徒として、三年間の中学校生活を始めることとなります。この三年間で、皆さんが心も体も大きく成長していつてくれることを期待しています。

そして中学校生活を送るうえで、皆さんにぜひ心がけてほしいことがあります。それは「ことばを大切にする」ということです。私は今年、この淀川中学校に赴任してきました。皆さんと同じ、一年生です。朝、学校に來るとグラウンドで練習している部活動の生徒が大きな声で「おはようございます」とあいさつをしてくれます。出勤してくる先生方も気持ちの良い挨拶を交わしていて、一日を気持ちよくスタートさせることができます。本当にいい学校に來たな、と赴任してすぐに感じることができました。ことばには力があります。このように人を励ますこともできますが、逆に否定的な言葉や批判的な言葉は相手を傷つけることがあります。皆さんには学校生活を送る中で、多くの人と関わり、適切なことばを選んで使えるようになってほしいと思います。どのようなことばを使うかによって、その人の価値観や立場が反映されます。言葉の選び方ひとつで、自分をどう表現するかが大きく変わってきます。また、自分の気持ちをきちんとことばにして言い表すことも大切です。中学校生活 3 年間の中で、使えることばを増やし、使うべきことばをきちんと選んで使えるようになってほしいと願っています。

ご列席の保護者の皆さまにお祝いを申し上げます。お子様のご入学、おめでとうございます。中学生というこの多感な難しい時期の約 1000 日間、皆さま方のお子さまをお預かりします。多感で難しい時期だからこそ、学校だけ、家庭だけではなく学校と家庭が連携を図り、子どもたちの将来のためにそれぞれの役割を果たす必要があると考えております。学校からいろいろなお願いをすることがあるかと思いますが、その節はご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日ご入学された新入生の皆さん、保護者の皆さま。淀川中学校の教職員・在校生一同、心よりご入学を歓迎いたします。そして、保護者の皆さま、地域の方々にご協力いただき、新入生の中学校生活がより素晴らしいものになるよう、また地域から愛される学校になりますよう、教職員一同、努力を惜しまないことをお約束して、式辞とさせていただきます。

令和 7 年 4 月 4 日

大阪市立淀川中学校 校長 尾曾 由里子